

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果(H30.5.25)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	ココロデニウム ホリクイコイデス
1.長田沖 アクアファーム	9:03	0	18.9	34.13	7.7	0	0	0	0
		15	17.9	34.27	7.8	0	0	0	0
2.塩内～片白島	9:22	0	19.2	34.08	7.7	0	0	0	0
		5	18.6	34.13	7.9	0	0	0	0
3.小田代	9:40	0	19.0	33.52	7.9	0	0	0	0
		12	17.8	34.27	7.5	0	0	0	0
4.沖松浦漁港	9:56	0	19.2	33.50	7.7	0	0	30	0
		2	18.6	33.93	7.7	0	1	0	0
		5	18.4	34.08	7.9	0	0	10	0
		8.8	18.1	34.20	7.5	0	4	1	0
5.鶴見振興局裏	9:59	0	19.5	33.30	7.9	0	0	1	0
		5.5	18.3	34.06	8.0	0	0	0	0
6.JF鶴見ポンツーン前	10:05	0	18.8	33.75	7.7	0	0	10	0
		9	18.0	34.20	7.7	0	0	1	0
7.石間	10:34	0	18.7	34.06	7.9	0	0	0	0
		10	17.8	34.28	7.5	0	0	0	0
8.守後	10:56	0	20.0	33.47	7.9	0	0	0	0
		9	18.3	34.15	8.0	0	19	0	0
9.霞ヶ浦	10:48	0	21.1	33.29	8.0	0	0	0	0
		6.5	18.6	34.16	8.1	0	36	0	0
10.片神	11:06	0	20.4	33.35	8.0	0	0	0	0
		5	18.9	34.06	7.6	0	0	0	0
11.水産試験場前	11:24	0	19.6	34.05	7.0	0	0	0	0
		5	18.5	34.23	7.7	0	0	0	0

参考: マグロ類における赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	1以上	10以上
ヘテロシグマ・アカシオ	500以上	5000以上
カレニア・ミキモイ	20以上	200以上
ココロデニウム・ホリクイコイデス	3以上	30以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。
* 魚の生理状態や環境条件等によって、上記警戒密度より低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイおよびヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

今週末～週明けにかけて雨天が予報されており、今後の天候不良によって本種の増殖が危惧されます。今後の細胞密度の推移にご注意下さい。

